隠れ家のようになっている「藤巻町内の美術館」の存在とその閉鎖の準備 が進められていることを紹介します。

併せて、ご高齢のため、今後 1~2 年の間に閉鎖されることを決心され、そのために、この美術館に収納されている絵画 180 点と姉妹館である東山元町の本館収納品約 500 点超を極めて安価に頒布され、その収益の一部を、藤巻町の「まちづくり活動」の資金に寄付したいとの申し出を受けたことをお知らせします。

2018年11月7日に私ども「藤巻の"さと"を育む会」事務局では、事務局長以下5名がこの美術館を訪れ、絵画の展示品等を山田氏の案内のもと鑑賞させていただきました。そのときの写真で凡その印象を理解ください。ただ訪問者の誰も、絵画には全くの門外漢で、美術館や作品の価値については、皆目わかりません。(コレクションの内容説明は、この後の記事をお読みください。)

美術館の位置と外観







美術館のなかの情景









美術館は普段は無人で施錠されていますが、所定の日時(基本は毎週土曜日午後 13 時~16 時 30 分 詳細は後記)に開館され、その時間は山田氏も案内、説明のため待機されています。また、その開館日でなくても、基本的には皆様から、山田義正氏(090-7318-1885 or 052-783-0789)に連絡いただければ、約束時間に山田氏が来られ開錠されます。

山田義正氏の紹介 美術品を集められた経緯

山田義正氏は、平成 22 年に藤巻町内に美術館を建設されましたが、周知活動も全くされませんで したので、美術館の存在を知る者は町内でも皆無と思われます。

山田氏は、平成元年に藤巻町に新居を構えられ、平成10年には自治会副会長を務められましたが、 平成12年、高速道路建設に際し、退去対象区域の住宅ということで東山元町に引っ越されました。

NTT 社員として情報通信の業務に従事され、平成元年(藤巻に転居された年)に名古屋市で開催された世界デザイン博覧会では博覧会事務局に情報通信の部長職として派遣されておられました。若い頃から絵画や美術品に興味をお持ちでしたが、デザイン博の業務に携わってさらに刺激を受け、ますます趣味が嵩じられたようです。特に平成 11 年に引退された後には各種の展覧会、画廊に足を運ばれ、自分の気にいった絵画を多数購入、大コレクションを形成されました。

その結果、東山元町の居宅の応接間、玄関ロビー、書斎等 10 室と離れの部屋の壁面一杯に並べただけでは足りず、平成 22 年頃には、引っ越してもなお大変愛着を感じておられた藤巻に売り出された住宅(敷地込み)を購入、あらたに建て替えられて藤巻山田美術館と命名、そこにも蒐集絵画を並べられることになりました。

しかし今回、美術館閉鎖と蒐集絵画の頒布処分を決意されました。

ただ、既に80歳を超えるご高齢で、10年以上前に、奥様も逝去され、お子様もおられないという事情もおありですので、そろそろこれらの美術館、蒐集美術品の整理をお考えになられ、この度の「藤巻美術館」 および 居宅に併設された「東山美術館(本館)」の閉館とコレクション絵画の処分を決意されたとのことです。(勿論、数年かけてゆっくりと処分される予定です)

「藤巻の"さと"を育む会」の活動資金への寄付の申し出に感謝しています。

平成30年3月末に第2次整備プログラムが公表されて、私達の「まちづくり活動」は新しい段階 一著しく住環境の悪いエリアを安心して暮らせる"まち"にすること— に入りました。

今までの活動対象は、一言でいえば「制度問題」でしたが、これからは実質的な「ハード面」に立ち入ってその改善策をどのようにして構築するかという取り組みです。

簡単なことから、大掛かりな仕組みや事業計画をたてて進めていく複雑な活動まで多岐にわたります。対象も"藤巻町"全域の住民に影響する問題から一部エリアに特に影響が大きい問題等、多様であり、少ない住民負担でどのような順序で取り組むのかも課題です。

そこでは、資材調達や専門業者に依頼する事態も予想され、その資金も必要となります。

資金調達をどのようにするか。例えば助成金をどう獲得するか等に頭を悩ませているところです。 自力で収益を得る方策をたてることも必要ですが、一方では私達を支援してくださる、共同・協働 してやっていこうといってくださる団体、個人を増やすことも大事と考えています。

寄付金集めも有力な手段と考えられます。

山田氏が「藤巻町のまちづくり活動」に共感され、私達に申し出いただいた「今回のコレクション 売却による収益の一部寄付」は、この先駆でもあり、今後の活動に大きな希望を与えるものと、私 達は考えています。是非、この申し出を実らせたいと考えて、今回の美術館訪問となりました。

以後、藤巻山田美術館についての、「正直、率直な印象」を申し述べます。

言うまでもなく私達には、山田美術館のコレクション内容を評価できる知識もなく、推奨できる鑑賞眼もないので、このコレクション処分にはむしろ邪魔な先入観を与えることになるかもしれませんが、こうした素人の率直な感想も参考の上、皆様、思い思いに、気軽に美術館を訪問され、山田氏との会話も含めて、お楽しみになっていただければと考えています。

美術館の率直な印象・感想

こうした絵画に無縁の私達にとっては、「猫に小判」というところで、さらに山田氏も専門的なコレクターというよりは趣味が嵩じて美術館を作ってしまったという感じですので、専門的な分類や統一されたテーマによってまとめられた、いわゆる「学術的、芸術的な美術館」とはいえないと思います。ただ、蒐集された絵画はすべて、私達凡人にとって親しみやすく素直に分かり易い作品で、大金を投じて購入するというわけではないが、一寸絵画を眺めて癒したい、あるいは手軽なプレゼントにするといった程度の物品として、好都合のものと思えました。額縁だけでもそれなりの価値があるとも思われます。

また、各々の処分頒布の価格は、その絵画の大きさ、作者の挌 画題等で 1 万円~2 万円を中心に目安として美術館のコーナーごとに記されていますが、山田氏は、皆様の希望に応じて、自由に価格交渉に応じてくださるとのことですので、ご遠慮なく相談してください。

開館日やその他時間があるときに散歩途中で立ち寄られればと思います。

また南に50mも歩けば、久遠チョコレート名古屋藤巻店 (児童医療ケアー施設ほわわ に併設)の工場、売店、ママカフェ(喫茶コーナー)もありますので楽しい休憩も可能かと思います。

https://www.facebook.com/quon.nagoyafujimaki/

美術館開館日 展示絵画の種別 頒布価格の目安等

- 藤巻山田美術館 名古屋市名東区藤巻町 1-2-847
- 1 開館時間 2019年(平成31年)1月12日(土)以降 毎週土曜日 13時~16時30分 (基本的に祝祭日も関係ありません)

特別な開館 または 休館は原則1週間前に藤巻町ホームページ http://fujimaki-cho.nagoya/
のニュースの項目でお知らせします

なお、この開館日以外に美術館来訪 または 絵画頒布を希望される方は 090-7318-1885 または 052-783-0789 いずれも 山田義正氏 に連絡くだされば原則として希望時間に対応していただけます。

- 2 展示してある絵画等 (詳細は絵画の種別、画家など、偽りなく山田氏が説明されます)
- ① 超有名画家の複製品・模写 (少数例外的存在。なかには 20 号超のかなり大型のものも) 模写をした画家も中堅のプロ画家ということです。
- ② 中堅、新鋭(蒐集された当時)のプロ画家(美術年鑑に記載)による作品 油絵 4 号~30 号 日本画 水彩画 版画

展覧会 画廊で売り出されていたもののなかから山田氏が気に入られた作品多数(人の好みによって価値感は違うと思いますが)中には特別に注文して描いてもらった作品もある。 冒頭に記述したように藤巻館に展示されている絵画は約 180 点です。

絵画内容は 海外風景画 日本風景画 美人画 人物画 その他(山岳の風景 桜等の風景 花) 頒布価格 版画等の 1000 円~5000 円より 一般的多数作品は 1 万円~2 万円 その他大型の絵画等 2 万 5 千円~5 万円程度を目安とします。

色々な絵画は部屋ごとにコーナーとして種別分類をしておられたようですが、現在は必ずしも完全に整理されているところまでいっていません。

それらの各部屋に展示されている状況を次頁以降に掲示しておきます。

山田氏は、藤巻館に滞在されていないときは、専ら東山元町の自宅兼東山美術館(本館)におられます。本館には500点を超える絵画が展示されています。

藤巻館に希望の絵画がない際には、東山元町の本館もご覧ください。

また、希望の絵画内容を山田氏に伝えていただければ、山田氏が本館展示の品物から選んで藤巻館に持参され、そこでご覧いただくことも可能です。

● 東山山田美術館(本館) 名古屋市千種区東山元町 2-68-1 山田氏ご在宅の際は、原則として常時、開館されています。

ただご不在の場合もありますので、ご訪問の際は念のため

090-7318-1885 または 052-783-0789 山田義正氏にご確認ください。

山田氏が自宅におられる間 (藤巻館におられない大半の時間は自宅とのことですので、ほとんど居られるとのことですが) は、原則として本館に展示されている絵画をいつでも鑑賞できるとのことです。

本館の絵画の展示状況の一部も、藤巻館の展示状況に続いて掲示しておきます

○ 藤巻館の絵画



ヨーロッパ風景



ヨーロッパ風景



ヨーロッパ風景



東洋水墨画



日本風景



日本風景



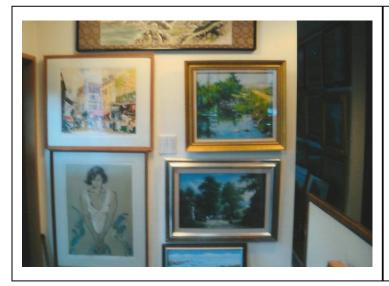


日本風景 美人画





名勝地 水彩画・版画・油絵





版画・油絵 玄関・ロビー



その他プロ画家による作品



玄関ロビー

○東山館(本館)



本館の庭・外観





本館の展示絵画の一部











